



# 新渡戸稲造マインド

No.462

「情けは人の為ならず」という言葉を知っているだろうか。小学校高学年にもなれば一度は聞いたことがあるだろう。では、この言葉の意味は次のうちどれか。国語辞典に掲載されているものを一つ選んでみてほしい。

- ①人に親切にしておけば、それが巡り巡って自分の為になる。
- ②人に情けをかけることは、かえってその人の為にならない。
- ③人に親切にすることは自己満足のためであり、他人の為ではない。

正解は①である。この「巡り巡って」というのが大事なポイントで、「見返りを期待していない」というニュアンスが含まれている。見返りを期待して親切にすることを「恩を売る」と言うので区別しておこう。

ちなみに②は非常に多い誤用で、文化庁が平成二十二年に行った「国語に関する世論調査」では正しい意味を答えられた人は半数にも満たなかったとの結果が出ている。なぜこれほど多くの人に誤用されてしまっているのか。その理由として考えられるのが、「ならず」という表現の解釈の誤りである。「情けは人の為ならず」で使われている「ならず」は現代語の「成らず(＝ならない)」ではない。「この「ならず」は古語で、断定を意味する「なり(～である)」と、打消しを意味する「ず(＝ない)」で成り立っている。だからこの場合は「人

の為ではない」という意味になり、つまりは「自分の為である」という解釈になるのである。

なぜこんな話をしているかというと、別に古典文法の解説がしたいわけではなく、最近読んだ本で新たな発見があり、それに感動したので、皆さんと共有したくなったからである。

中学三年生の歴史の授業で四月に新渡戸稲造が出てくる。国際連盟の事務次長を務めた人物で、五千円札といえは新渡戸稲造というイメージが私の中ではどうしても強い。最近その新渡戸稲造の「一日一言」という本を読んだのだが、その中に「情けは人の為ならず」というフレーズが出てきたのだ。しかもこの言葉、なんと続きがあったのである。せっかくなので紹介しよう。



施せし情は人の為ならず

おのがこころの慰めと知れ

我れ人にかへし恵はなれども

つゝの恩をば長くはたれざるま

(出典:『新約』一日一言:『武士道』を貫いて生きるための366の格言集 新渡戸稲造著)

現代の言葉に言い換えると、

『他人に親切にするっていうのはその人のためにすることじゃないよ。』

自分自身の心の満足のためにすることなんだ。だから自分が他人に親切にしたことは忘れていい。でも他人から親切にもらったことは絶対に忘れちゃいけないよ。』

といった具合だろうか。どうだろう。こうして読んでみると③もあながち間違っていないような気がしてくる。人に親切にするのも、家族を支えるのも、チームの勝利に貢献するのも、地球環境を守るのも、好きな人に尽くすのも、与えられた仕事を一生懸命頑張るのも、宿題を毎回きちんとやるように促すのも、すべては見返りや自分の利益を期待するのではなく、「自分の心の満足のため」なのだ。そう思えたら、それを思考の習慣に出来たら、なんて清々しいだろう。なんて気持ちが良いだろう。この新渡戸稲造マインドを創学舎のみんなで共有し、親切心に溢れた、よりよい場所にしていきたいものである。(高寺)

今月号より新企画がスタートします。「私」の勉強術と題して、リレー連載形式で、各先生に自分の体験談や必勝法などのノウハウを開陳していただきます。今月号は、スタートを記念して、お二人に書いていただきました。

## 「私」の勉強術 その1 私の知識習得法

先日、当教室(パーソナル柏教室)のある講師と日本史の学習について、雑談する機会があった。生徒たちの知識不足を嘆く話題から、どのように知識を習得してきたか、習得に使ったツールは何だったのかといった内容であったと思う。そこで、自分自身、どのように取り組んできたのか、歴史科目についてここで再確認してみたい。参考になれば幸いである。

小学校低学年時代は何も考えずに遊んでいたけなので割愛。

小学校高学年時代はNHKの大河ドラマやクイズ番組などをきっかけに、自宅にあった百科事典

や『広辞苑』で人物名などを中心に調べものをしていったと思う。そして、これら書物で得た知識が絵で掲載されている『漫画日本の歴史』を読み漁っていた。この『漫画日本の歴史(小学館版)』は当時全二十巻もあって、小学生のお小遣いでは買えない揃えるのも困難だったから、土曜日の下校後、図書館に通うようになった。漫画を何度も読んでからは父親の歴史好きということも幾分か影響を受けたのか、自宅にあった父親保有の歴史小説を読みだすようになった。『国盗り物語』『項羽と劉邦』(共に司馬遼太郎)、『悪人列伝』(海音寺潮五郎)あたりが思い出される。司馬遼太郎には少しハマって、『関ヶ原』『城塞』は自分で購入して読むようになった。(お小遣いが増額された中学生になって、やっと買えるようになった。もともと文庫版ではある。)そして気になる人物が出てきたら図書館で調べる(本人は勉強しているつもりはさらさらない。あくまで興味があるから調べているにすぎない。)ことが習慣化したように思う。



『関ヶ原 上・中・下』 司馬遼太郎(新潮文庫)

この頃の読書による知識の習得で中学の歴史教科書の内容(日本史分野の主に人物)はだいたい覚えてしまった。中学生になってからは資料集などを見るようになっていったのだが、このことも苦行ではなく、興味があることを調べて楽しんでいくのには変わりはない。ところで、最初に触れた雑談のとき、相関図で

用語などを理解するようにしていないのではないかと話題があったのだが、この相関図を理解することでつながりを把握でき、それぞれの項目同士をリンクさせることで忘れにくくする効果があると思う。連想ゲームみたいなものだ。受験勉強を抜きに一例を挙げると、崇徳上皇⇨崇徳院⇨日本三大怨霊⇨菅原道真⇨太宰府天満宮みたいな次々リンクさせていく。そうすると多くのことの繋がりに気づくことになる。こういった発見も面白い。知識を増やす上では一定の効果があると思う。リンクを張って小学生時代に覚えたものを今でも覚えていいることに正直驚くし、役立っているものもある。

以上から結論として以下の三点を挙げる。

- ① 早い時期での知識の習得は一生ものになり得る。
- ② 調べて発見することを大いに楽しむべし。楽しくなければ続かない。続けなければ覚えられない。
- ③ 用語はリンクさせると多くの発見につながり知識が増える。

知識が増えることは楽しい。ぜひお試しあれ。

(山崎)

## 「私の勉強術」のII 「資格マニアの勉強術」

GWはいかががお過ごしだったでしょうか？私は八つの試験を受けました。うち一つは結果待ちですが、中小企業BANTO認定試験、銀行業務検定(サステナブル経営サポート)、繊維ファッショビジネス認定資格など他七つは全て合格。これにより2024年の戦績は26勝2敗となり、検定合格&取得資格の累計は637種989個とな

りました。どうやら今夏中に1,000個達成できそうです。

私の基本方針は、独学・短期集中・ジャンル不問の三つです。国家資格を例に挙げると、保育士は15日、総合旅行業務取扱管理者は10日、測量士補5日、登録販売者4日、運行管理者3日、危険物取扱者半日といった短い対策期間でそれぞれ合格を果たしています。検定類は3〜5日程度の対策で9割の勝率を保っています。

さて、以上のようなスピード合格に必要な要素は、以下の五つにあると思います。



- ① 基礎学力・勉強姿勢
- ② 速読術
- ③ 読解力
- ④ 記憶術
- ⑤ 経験値

このうち見逃されがちなのが①の基礎学力・勉強姿勢です。何か月もの勉強時間をかけて資格学校に多額の費用を払っても試験に落ちる人たちは①が不足しているからです。よく「学校の勉強なんて何の役に立つの?」と聞いてくる生徒がいますが、資格ハンターとして断言できるのは、自分のやりたいことが将来見つかった必要な資格を取るときに必ず役に立つ、ということなんです。たとえば、火薬類製造保安責任者には「一般教養」という科目があり、内容は公立高校入試程度の英数国理社となっています。私はこの科目は対策なしで満点を取れるので、火薬学や法令に専念して2日ほどの勉強で受かりましたが、中学校の学習内容が身につけていない人にはこの対策だけでかなりの時間が必要になるはずなんです。独立した科目でなくとも、たとえば色彩検定を受けるとき、中学理科の光の

性質や眼の構造が分かっていると取得は楽になります。このように中学校の学習内容は、様々な資格・検定受験に大いに役に立つのです。

そして、知識以上に大切なのが勉強姿勢です。これは、机に向かって集中する、すきま時間を活用して暗記に励む、モチベーションを保つといった、自分をコントロールし、濃密な学習を可能にするスタイルのことです。定期テストや受験勉強を通じて、自分なりの必勝パターンを確立できている人は、効率的な勉強が可能です。が、この期間を漫然と過ごした人は、高い代償を払うこととなります。

続いて、紙数の関係で②④は割愛し(創学舎のブログの方に掲載します)、⑤の経験値の話をしていきます。GWに2〜3時間の勉強で私が試験に受かったのは、FITTI(ファッション産業技術継承協会)の試験は10個目、金融業務能力検定は12個目と、出題傾向や難易度を熟知し何をどれだけ対策すれば良いかがわかっていたからです。

同じ分野の知識が生かされるといふ例では、初めての不動産資格だった宅建は10日の勉強を必要としましたが、その後の管理業務主任者は7日、賃貸不動産経営管理士は5日と、勉強期間を縮めることができました。また、異分野でも主催団体が同じなら、経験値は大いに物を言います。たとえば、労働安全衛生技術センターが主催するボイラー技士、エックス線作業主任者、潜水士、発破技士。それぞれ試験科目は異なりますが、出題傾向は実はそっくり。ボイラーは10日、エックス線には7日かけましたが、上記の点がわかってくると、潜水士は4日、発破技士は1日にと勉強時間を縮小できました。

## 創学舎 百人一首大会

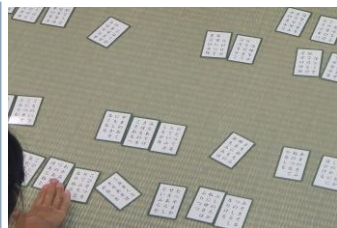
創学舎では、小学生を対象に『百人一首大会』を毎年開催しています。

全員に参加賞、優秀者には賞品や表彰状を用意して、皆さんの参加をお待ちしています!

日時 6/22(土)

午後1:00~3:30

会場 創学舎 柏教室



過去問研究が大切なことは、入試でも同様です。さらに、もっと言えば無数の試験をくぐりぬけてきた経験の総量が私の短期合格を支えているとも言えるでしょう。とすれば、先の勉強姿勢の話と併せて、両者を培うには内容・ジャンルは何でも良いということになります。だから、受験勉強はそこで得た知識を将来全く使わなかったとしても、勉強姿勢を形成し、試験の経験値を上げるという意味で、必ず役に立つのです。

それでも学校の勉強に意識が向かないという人は、今関心を持っているもの何でも良いので、それに関する検定を探してみてください。

野球知識検定、スニーカー検定、鉄道マイスター検定、宝塚検定やハローキティ検定など、世の中には様々な検定があります。元素検定や国旗検定など、小学生の受検者が大人より多い印象の検定もあります。そうした受験を通して成り功体験を経験値として積むことは、きっと他の試験を受けるときも役に立つはずなんです。(片岡)